

鵜羽鉄道株式会社 ICカード乗車券取扱規則

鵜羽鉄道株式会社 ICカード乗車券取扱規則

(平成19年3月12日付達甲第128号)

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、鵜羽鉄道（以下「当社」という。）における、ICカード乗車券による旅客の運送等について、その使用条件を定め、もって旅客の利便性向上と業務の適正な遂行を図ることを目的とする。

(適用範囲)

第2条 当社において旅客の運送等を行うICカード乗車券は、この規則の定めるところによる。

2 前項にかかわらず、一体型MOPASについては次の各号に定める取扱いを行わない。

(1) 第11条（発売）、ただし旅客が所持する一体型MOPASに定期乗車券情報の機能付加の申出があった場合は、第11条第2項に定める手続に則り当該MOPASに定期乗車券の機能を付加するものとする。

(2) 第18条第2項（再印字）、ただし前号により付加された乗車券に関する再印字を請求された場合は取扱う。

3 この規則が改定された場合、以後のICカード乗車券による旅客の運送等については、改定された規則の定めるところによる。

4 この規則に定めのない事項については、法令、当社の旅客営業規則および株式会社モパスが定めるMOPAS取扱規則等の定めるところによる。

(用語の意義)

第3条 この規則における主な用語の意義は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 「ICカード乗車券」とは、株式会社モパスが発行するMOPASを媒体とする乗車券等をいう。

(2) 「IC取扱事業者」とは、MOPAS取扱規則に規定するMOPAS取扱事業者をいう。

(3) 「IC鉄道事業者」とは、前号に規定するIC取扱事業者のうち鉄道事業者をいう。

(4) 「SF」とは、専ら旅客運賃の支払いや乗車券類との引換えに充当する、ICカード乗車券に記録された金銭的価値をいう。

(5) 「ICSF乗車券」とは、SFにより旅客の運送等に供するICカード乗車券をいう。

(6) 「無記名MOPAS」とは、券面に使用者の記名を行わない、持参人1名の使用に供するICカ

鵜羽鉄道株式会社 I C カード乗車券取扱規則

ード乗車券をいう。

- (7)「記名MOPAS」とは、券面に使用者の記名を行い、かつMOPASに使用者の氏名を記録した、記名人本人の使用に供するI Cカード乗車券をいう。
- (8)「一体型MOPAS」とは、株式会社モパスが、同事業者以外の者（以下「提携先」という。）と提携し、提携先のサービス機能と一体となった媒体で発行する記名MOPASをいう。
- (9)「大人用MOPAS」とは、大人の使用に供するMOPASをいう。
- (10)「小児用MOPAS」とは、小児の使用に供するものであって券面に小児の表示を行った記名MOPASをいう。
- (11)「I C 定期乗車券」とは、I C 鉄道事業者の定期乗車券の機能を記名MOPASに付加したI Cカード乗車券をいう。
- (12)「I C 企画乗車券」とは、I C 鉄道事業者が旅客営業規則等に定める旅客運賃の割引を行う乗車券（以下、「企画乗車券」という。）の機能をMOPASに付加したI Cカード乗車券をいう。
- (13)「チャージ」とは、I Cカード乗車券に入金することをいう。
- (14)「デポジット」とは、返却することを条件に、株式会社モパスが収受するMOPASの使用権の代価をいう。
- (15)「改札機等」とは、I Cカード乗車券の改札を行う機器をいう。
- (16)「精算機等」とは、I Cカード乗車券の精算およびチャージを行う機器をいう。
- (17)「最低運賃相当額」とは、第6条第2項に規定する普通旅客運賃で、当該乗車駅から隣接駅までの区間に対して適用される最も低額な運賃をいう。
- (18)「乗継駅」とは、乗継割引適用区間で、一旦改札を出て他の鉄道事業者線へ乗換える駅をいう。

（契約の成立および適用規定）

第4条 I Cカード乗車券による旅客運送の契約は、駅において乗車の際に改札機等による改札を受けたときに旅客と当社の間において成立する。

2 前項にかかわらず、I C 定期乗車券またはI C 企画乗車券による旅客運送の契約は、その定期乗車券または企画乗車券を発売したときに成立する。

3 前各項の規定によって契約の成立したとき以降における取扱いは、別段の定めをしない限り、その契約の成立したときの定めによるものとする。

鵜羽鉄道株式会社 I C カード乗車券取扱規則

(使用方法および制限事項)

- 第5条** I C カード乗車券を使用して乗車するときは、改札機等による改札を受けて入場し、同一の I C カード乗車券により改札機等による改札を受けて、出場しなければならない。
- 2** 出場時に S F 残額が減額する運賃相当額に満たないときは、精算機等において不足額を支払い、出場するものとする。
- 3** I C カード乗車券の S F を使用して定期乗車券、別の M O P A S および当社が別に定める乗車券等との引換えはできない。
- 4** 入場時に使用した I C カード乗車券を出場時に使用しなかった場合は、当該 I C カード乗車券で再び入場することはできない。
- 5** 次の各号のいずれかに該当するときは、I C カード乗車券は直接改札機等で使用できないことがある。
- (1) 入場時に S F 残額が当該駅の最低運賃相当額に満たないとき。
 - (2) 旅客が、出場時に改札機等で旅客運賃の減額ができない経路を乗車したとき。
 - (3) I C カード乗車券の破損、改札機等の故障または停電等により改札機等による I C カード乗車券の内容の読取りが不能となったとき。
 - (4) 記名 M O P A S または当社が別に定める無記名 M O P A S においては改札機等での入場または出場、S F もしくは定期乗車券、企画乗車券の使用または S F のチャージのいずれかの取扱いを行った日の翌日を起算日として、株式会社モパスが別に定める期間これらの取扱いが行われなかったとき。
 - (5) 一体型 M O P A S においては提携先の都合により、当該 M O P A S が使用できない状態となったとき、または有効期限が終了したとき。
- 6** I C カード乗車券を使用して、乗車以外の目的で駅に入出場することはできない。
- 7** I C 定期乗車券または I C 企画乗車券の券面表示区間内の駅を発駅もしくは着駅とする他の乗車券と併用することができる。この場合は、第 1 項に規定する使用方法と同様の取扱いを受けたこととみなす。
- 8** 記名 M O P A S は、当該記名 M O P A S に記録された記名人本人以外が使用することはできない。
- 9** 小児用 M O P A S は、有効期限終了後は使用することができない。
- 10** 偽造、変造または不正に作成された I C カード乗車券、S F、定期乗車券または企画乗車券の機能を使用することはできない。

鵜羽鉄道株式会社 ICカード乗車券取扱規則

(運賃)

第6条 この規則における普通旅客運賃は、第5条第1項の定めにより乗車した場合に適用する運賃をいう。

2 前項に定める普通旅客運賃のうち、大人片道普通旅客運賃は、旅客の乗車する発着区間のキロ程により、次によって区分した1円単位運賃とする。

(1)	4 kmまで	1 4 7 円
(2)	4 kmをこえ 7 kmまで	1 6 8 円
(3)	7 kmをこえ 1 0 kmまで	1 9 9 円
(4)	1 0 kmをこえ 1 5 kmまで	2 5 1 円
(5)	1 5 kmをこえ 2 0 kmまで	3 1 4 円
(6)	2 0 kmをこえ 2 5 kmまで	3 6 7 円
(7)	2 5 kmをこえ 3 0 kmまで	4 1 9 円
(8)	3 0 kmをこえ 3 5 kmまで	4 7 1 円
(9)	3 5 kmをこえ 4 0 kmまで	5 2 4 円
(10)	4 0 kmをこえ 4 5 kmまで	5 9 7 円
(11)	4 5 kmをこえ 5 0 kmまで	6 6 0 円
(12)	5 0 kmをこえ 6 0 kmまで	7 3 3 円
(13)	6 0 kmをこえ 7 0 kmまで	8 1 7 円
(14)	7 0 kmをこえ 8 0 kmまで	9 0 2 円
(15)	8 0 kmをこえ 9 0 kmまで	9 8 5 円
(16)	9 0 kmをこえ 1 0 0 kmまで	1, 0 7 9 円
(17)	1 0 0 kmをこえ 1 2 0 kmまで	1, 2 1 5 円
(18)	1 2 0 kmをこえ 1 4 0 kmまで	1, 3 8 3 円
(19)	1 4 0 kmをこえ 1 8 0 kmまで	1, 5 7 1 円
(20)	1 8 0 kmをこえ 1 8 5 kmまで	1, 7 8 9 円

3 旅客が第5条第1項に定める使用方法によらず乗車した場合であっても、当社が特に認めた場合は、前項に定める普通旅客運賃を適用することがある。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、旅客営業規則に定める普通旅客運賃を適用する。

- (1) 第5条第7項の規定により他の乗車券を併用した場合で、旅客営業規則に定める乗車券で旅行を開始した場合
- (2) 第5条第7項の規定により他の乗車券を併用した場合で、併用した乗車券について旅客営業規則に定める区間変更の取扱いを行った場合

鵜羽鉄道株式会社 ICカード乗車券取扱規則

(小児片道普通旅客運賃)

第6条の2 小児片道普通旅客運賃は、大人片道普通旅客運賃を折半し、1円未満のは数を切り捨てた額とする。

(鉄道駅バリアフリー料金)

第6条の3 第6条第2項に規定した大人片道普通旅客運賃には、鉄道駅バリアフリー料金として1乗車につき10円を加算するものとする。

2 大人片道普通旅客運賃を基準に運賃を算出するものについては、前項により算出した大人片道普通旅客運賃を基準として計算するものとする。

(個人情報の取扱い)

第7条 記名MOPASにかかわる個人情報の取扱いは、MOPAS取扱規則の定めるところによる。

(旅客の同意)

第8条 旅客は、この規則およびこれに基づいて定められた規定を承認し、かつこれに同意したものである。

(取扱区間)

第9条 当社におけるICカード乗車券の取扱区間は、全線とする。

(制限または停止)

第10条 旅客の運送の円滑な遂行を確保するため、当社が必要であると認めたときは、次に掲げる制限または停止をすることがある。

(1) 発売または再発行等の箇所・枚数・時間・方法の制限もしくは停止

(2) 乗車区間・乗車経路・乗車方法または乗車する列車の制限

2 本条に基づくサービスの制限または停止に対し、当社はその責めを負わない。

第2章 発売

鴫羽鉄道株式会社 I C カード乗車券取扱規則

(発売)

- 第 1 1 条** MOPAS は MOPAS 取扱規則の定めにより駅等で発売する。ただし、記名 MOPAS の購入を希望する旅客が I C カード乗車券を処理する機器により、購入申込書に記載すべき事項を入力した場合は、購入申込書の提出を省略し発売することができる。
- 2** 旅客が MOPAS に定期乗車券の購入を申し込む場合は、購入申込書に必要事項を記入して提出し、旅客営業規則に定める定期乗車券を MOPAS へ発売する。ただし、定期乗車券の購入を希望する旅客が I C カード乗車券を処理する機器により、購入申込書に記載すべき事項を入力した場合は、購入申込書の提出を省略し発売することができる。
- 3** 旅客が MOPAS に企画乗車券の購入を希望する場合は、企画乗車券を MOPAS へ発売する。
- 4** 第 2 項および第 3 項の定めにより発売する場合、大人の使用に供するものは大人用 MOPAS に、小児の使用に供するものは小児用 MOPAS にその機能を付加する。なお、第 2 項により発売する定期乗車券の機能を無記名 MOPAS に付加するときは、当該無記名 MOPAS を記名 MOPAS に変更する場合に限り取扱う。
- 5** 第 1 項、第 2 項、ならびに第 4 項にかかわらず、実習用通学定期乗車券の発売はしない。

(チャージ)

- 第 1 2 条** I C カード乗車券は、MOPAS 取扱規則の定めにより I C カード乗車券を処理する機器によりチャージすることができる。
- 2** I C S F 乗車券を使用して乗車し、出場時に S F 残額が減額する運賃相当額に満たない場合、および I C 定期乗車券または I C 企画乗車券を使用して乗車し出場時に精算が生じ、かつ S F 残額が減額する運賃相当額に満たない場合は、その不足額を精算機等によりチャージすることができる。
- 3** 前項の場合、その不足額に 1 0 円未満の端数があるときは、これを 1 0 円単位に切り上げた額とする。

(S F 残額の確認)

- 第 1 3 条** I C カード乗車券の S F 残額は、I C カード乗車券を処理する機器により確認することができる。
- 2** I C カード乗車券の S F 残額履歴の表示または印字は MOPAS 取扱規則の定めにより、I C カード乗車券の処理を行う機器により確認することができる。
- 3** 前各項にかかわらず、次の各号に定める場合は表示または印字による確認はできないものとする。
- (1) 出場処理がされていない S F 残額履歴
 - (2) 所定の機器による処理が完全に行われなかったときの S F 残額履歴

鵜羽鉄道株式会社 I C カード乗車券取扱規則

(3) 第22条または第23条の規定によりMOPASを再発行したときの再発行前のSF残額履歴

(4) 第24条の規定によりMOPASを交換したときの交換前のSF残額履歴

4 当社においては、MOPAS取扱規則の定めにかかわらず、前各項に定めるSF残額およびSF残額履歴のほか、最近のSF残額履歴から100件までさかのぼって確認することができる。また、この場合には、第22条または第23条の規定によりMOPASを再発行したときの再発行前のSF残額履歴および第24条の規定によりMOPASを交換したときの交換前のSF残額履歴も確認することができる。ただし、次の各号に定める場合は表示または印字による確認はできない。

(1) 出場処理がされていないSF残額履歴

(2) 所定の機器による処理が完全に行われなかったときのSF残額履歴

(3) 26週間を経過したSF残額履歴

(4) 第22条または第23条の規定によりMOPASを再発行した当日における再発行前のSF残額履歴

(5) 第24条の規定によりMOPASを交換した当日における交換前のSF残額履歴

第3章 運賃

(ICSF乗車券における運賃の減額)

第14条 旅客がICSF乗車券を使用して乗車する場合、出場時に当該乗車区間に対する大人片道普通旅客運賃をSF残額から減額する。ただし、小児用MOPASにあつては、小児片道普通旅客運賃を減額する。

2 当社の駅発着となる場合で、当該発着区間内に他のIC鉄道事業者を含む場合であっても、特に認めた場合を除き、全線当社を使用したものとみなして、片道普通旅客運賃を収受する。

3 乗換駅を経由して着駅で出場する場合は、発着区間の片道普通旅客運賃相当額と当該乗換駅における収受額とを比較し、不足額は収受し過剰額は払いもどしをしないものとする。

(IC定期乗車券またはIC企画乗車券における運賃の減額)

第14条の2 旅客がIC定期乗車券またはIC企画乗車券を使用して入場した後、任意の駅まで乗車し、出場する場合の取扱いは次の各号の定めるとおりとする。

(1) 有効期間内で券面表示区間内から入場した後、券面表示区間外の任意の駅まで乗車し出場する場合は、別途乗車となる区間の片道普通旅客運賃相当額を減額する。

(2) 有効期間内で券面表示区間外から入場した後、券面表示区間内の任意の駅まで乗車し出場する場合は、別途乗車となる区間の片道普通旅客運賃相当額を減額する。

鴫羽鉄道株式会社 ICカード乗車券取扱規則

(3) 有効期間内で券面表示区間外の駅相互間を乗車する場合は、別途乗車となる区間の片道普通旅客運賃相当額を合算した額、または片道普通旅客運賃を減額する。

(4) 券面表示の有効期間の開始日前もしくは有効期間の満了日の翌日以降において乗車する場合は、片道普通旅客運賃を減額する。

(→第17条「効力」)

(当社を含むIC鉄道事業者相互間を乗車する場合の運賃の減額)

第15条 旅客がICSF乗車券を使用して入場した後、各IC鉄道事業者の定める取扱区間内を連続して乗車する場合、出場時に減額する旅客運賃は、実際に乗車した経路に基づき、各IC鉄道事業者で定める大人片道普通旅客運賃の計算方による運賃の合算額とする。また、小児用MOPASのSFから減額する旅客運賃にあつては、各IC鉄道事業者で定める小児片道普通旅客運賃の合算額とする。

2 旅客がIC定期乗車券またはIC企画乗車券を使用して入場した後、各IC鉄道事業者の定める取扱区間内を連続して乗車し、出場する場合の取扱いは前条の規定を準用する。

3 前各項にかかわらず、改札機等での旅客運賃の減額は、入場した駅から4社局以内の各IC鉄道事業者の定める取扱区間内を連続して乗車した場合に限る。ただし、5社局以上を連続して乗車した場合であっても、4社局以内を連続して乗車できる経路がある場合には、4社局以内を連続して乗車したものとみなして運賃を減額する。

4 前各項にかかわらず、乗車経路が特定できない場合は、実際に乗車した経路と異なる経路を乗車したものとみなして運賃を減額することがある。

5 IC鉄道事業者が規定する旅客運賃に割引を適用する区間を乗車する場合は、出場時に当該区間の片道普通旅客運賃から割引額を減じた額を減額する。ただし、同一IC鉄道事業者の割引適用区間が重複する場合にあつては、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 割引額が異なる場合には、旅客運賃が低廉となる割引を適用する。

(2) 割引額が同一の場合には、乗車経路において最初に発生する割引を適用する。

6 旅客は2以上の旅客運賃の割引が適用される場合であっても、旅客運賃の割引を重複して請求することができない。

(身体障害者割引および知的障害者割引)

第16条 当社が別に定める身体障害者旅客運賃割引規程および知的障害者旅客運賃割引規程により、割引を受けようとする旅客がICカード乗車券による乗車の意思を表示したときは、当社線内を利用する場合に限り、ICSF乗車券による乗車では当該区間の片道普通旅客運賃、IC定期乗車券またはIC企画乗車券による乗車では第14条の2の規定により算出する片道普通旅客運賃相当額、また

鴫羽鉄道株式会社 I C カード乗車券取扱規則

は片道普通旅客運賃からそれぞれ5割引した額を減額する。

2 第1種身体障害者、第2種身体障害者、第1種知的障害者、ならびに第2種知的障害者が単独で乗車するときは、当社線内の旅客運賃計算キロ程が片道100キロメートルをこえる区間を乗車する場合に限り、前項による割引の取扱いを行う。

3 前各項にかかわらず、当社を含む I C 鉄道事業者相互間を乗車した場合は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 前条第1項から第5項の規定により算出する片道普通旅客運賃相当額、または片道普通旅客運賃からそれぞれ5割引した額を減額する。

(2) 旅客は2以上の旅客運賃の割引が適用される場合であっても、旅客運賃の割引を重複して請求することができない。ただし、第1項に定める割引と前条第5項に規定する割引との重複についてはこの限りでない。

4 前各項の取扱いは、第5条第1項の規定にかかわらず、改札機等による改札を受けて入場し、出場時に係員に身体障害者手帳または療育手帳を呈示するものとする。

(身体障害者割引および知的障害者割引のは数処理)

第16条の2 前条第1項の規定により割引の運賃を減額する場合、1円未満のは数があるときは、1円未満のは数を切り捨てた額とする。

第4章 効力

(効力)

第17条 I C カード乗車券取扱区間内において、I C S F 乗車券を使用して乗車する場合、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 当該乗車区間において、片道1回の乗車に限り有効なものとする。この場合、I C S F 乗車券1枚をもって1人が使用することができる。なお、無記名MOPASから大人片道普通旅客運賃を減額することを承諾して使用する場合には、小児1人が使用することができる。

(2) 入場後は、当日限り有効とする。

(3) 途中下車の取扱いはしない。

2 MOPAS に発売された定期乗車券および企画乗車券については、当社の旅客営業規則等の定めるところによる。ただし、S F をチャージした I C 定期乗車券および I C 企画乗車券の券面表示区間外または券面表示の有効期間の開始日前もしくは有効期間の満了日の翌日以降において乗車する場合は、前項を適用する。

鵜羽鉄道株式会社 ICカード乗車券取扱規則

(再印字)

第18条 ICカード乗車券は、その券面に表示すべき事項（以下「券面表示事項」という。）が不明となったときは、使用してはならない。

2 前項の場合、MOPAS取扱規則または当社の旅客営業規則等の定めるところにより、速やかに当該MOPASを当社に差し出して、券面表示事項の再印字を請求しなければならない。

(記名MOPASの個人情報変更)

第19条 改氏名等により、記名MOPASを所持する旅客の個人情報と記名MOPASに記録された個人情報に相違が生じた場合、当該記名MOPASを使用してはならない。

2 前項の場合、旅客は速やかに当社が定める申込書および当該記名MOPASを当社に差し出して、個人情報変更の請求をしなければならない。この場合の取扱いはMOPAS取扱規則の定めによる。

(無効となる場合)

第20条 ICカード乗車券は、次の各号のいずれかに該当する場合は、無効とする。この場合、無効となったICカード乗車券の取扱いはMOPAS取扱規則の定めによる。

- (1) 旅行開始後のICカード乗車券を他人から譲り受けて使用した場合
- (2) 係員の承諾なく改札機等による改札を受けずに入出場した場合、またはIC定期乗車券およびIC企画乗車券の券面表示区間外の区間を乗車し、係員の承諾を受けずに出場した場合
- (3) 記名MOPASを記名人以外の者が使用した場合
- (4) 券面表示事項が不明となったICカード乗車券を使用した場合
- (5) 使用資格、氏名、生年月日、性別、電話番号を偽って購入した小児用MOPASを使用した場合
- (6) 券面表示事項をぬり消し、または改変して使用した場合
- (7) 当社の旅客営業規則に定める乗車券が無効となる事項に該当する場合
- (8) 偽造、変造または不正に作成されたICカード乗車券もしくはSFを使用した場合
- (9) 旅客の故意または重大な過失によりICカード乗車券が障害状態となったと認められる場合
- (10) その他不正乗車的手段として使用した場合

(不正使用に対する旅客運賃・増運賃の収受)

第21条 前条各号のいずれかに該当した場合、旅客営業規則の定めにより収受する。

(→第20条「無効となる場合」)

鵜羽鉄道株式会社 I C カード乗車券取扱規則

第5章 再発行・交換

(紛失再発行)

第22条 I C S F 乗車券の紛失再発行の取扱いは、当社が定める申請書の提出を受け、M O P A S 取扱規則の定めるところにより行う。

2 I C 定期乗車券または I C 企画乗車券の紛失再発行の取扱いをする場合は、旅客から当社が定める申請書の提出を受けた後、次の各号の条件を満たす場合に限り、紛失した I C 定期乗車券または I C 企画乗車券の使用停止措置と再発行するために必要な帳票（以下「再発行整理票」という。）を交付する。ただし、再発行する当日において定期乗車券または企画乗車券の有効期間が終了している場合は、前項の取扱いをすることがある。

（1）申請書を提出するときは、公的証明書等の呈示により、再発行を請求する旅客が当該 I C 定期乗車券または I C 企画乗車券の記名人本人であることを証明できること。

（2）記名人の氏名、生年月日、性別の情報が株式会社モパスのシステムに登録されていること。

3 前項により使用停止措置を行った当該 I C 定期乗車券または I C 企画乗車券は、旅客が再発行整理票発行日の翌日から 14 日以内に次の第 1 号から第 3 号の条件を満たしたうえ、再発行を請求した場合に限り、当該 I C 定期乗車券または I C 企画乗車券裏面に刻印されたものと異なるカード番号の I C 定期乗車券または I C 企画乗車券を再発行する。また、一体型 M O P A S においては、次の第 1 号から第 5 号の条件を満たした場合に限り、I C 定期乗車券または I C 企画乗車券の機能を再発行する。

（1）公的証明書等の呈示により、再発行を請求する旅客が当該 I C 定期乗車券または I C 企画乗車券の記名人本人であることを証明できること。

（2）再発行する M O P A S に付加されている定期乗車券または企画乗車券が当社で発売したものであること。

（3）旅客が前項により発行された再発行整理票を提出すること。

（4）旅客が株式会社モパスおよび提携先より交付された再発行用の媒体を持参すること。

（5）旅客が株式会社モパスからの再発行用の媒体にかかわる通知を呈示すること。

4 前項により再発行の取扱いを行う場合は、再発行する I C 定期乗車券または I C 企画乗車券 1 枚につき紛失再発行手数料 520 円を現金で収受する。なお、デポジットの取扱い、および記名 M O P A S の紛失再発行手数料は M O P A S 取扱規則の定めによる。

5 第 2 項により使用停止措置を行った一体型 M O P A S を使用していた旅客が、再発行整理票発行日の翌日以降に、定期乗車券または企画乗車券の再発行を請求した場合、次の各号に定める条件を満たした場合に限り再発行を行う。

鴫羽鉄道株式会社 ICカード乗車券取扱規則

- (1) 定期乗車券については、当社が定める申請書を提出し、第3項第1号から第3号の条件を満たしたうえ、ICカード乗車券以外の媒体により定期乗車券の機能のみを再発行する。
- (2) 企画乗車券については、第3項第2号および第3号の条件を満たしたうえ、ICカード乗車券以外の媒体により企画乗車券の機能のみを再発行する。
- (3) 前各号により再発行した定期乗車券または企画乗車券の取扱いは本規則によらないものとする。
- (4) 第1号および第2号により、定期乗車券または企画乗車券を再発行した場合、第3項による再発行の取扱いを行った後には、定期乗車券または企画乗車券の機能を再発行しない。

- 6 当該IC定期乗車券またはIC企画乗車券の使用停止の申し出を受け付けた後、これを取り消すことはできない。また、紛失したIC定期乗車券またはIC企画乗車券が発見された場合に、当該IC定期乗車券またはIC企画乗車券を再発行用の媒体として使用することはできない。
- 7 第2項から第4項までの取扱いを行った後に、紛失したIC定期乗車券またはIC企画乗車券が発見された場合で、株式会社モパスがIC定期乗車券またはIC企画乗車券のデポジットを収受している場合、デポジットの取扱いはMOPAS取扱規則の定めによる。

(障害再発行)

第23条 IC S F乗車券の障害再発行の取扱いは、当社が定める申請書の提出を受け、MOPAS取扱規則の定めるところにより行う。

- 2 IC定期乗車券またはIC企画乗車券の障害再発行の取扱いを行う場合は、旅客から当社が定める申請書の提出を受け、かつIC定期乗車券またはIC企画乗車券を呈示したときに、再発行整理票を交付する。ただし、再発行する当日において定期乗車券または企画乗車券の有効期間が終了している場合は、前項の取扱いをすることがある。
- 3 前項により再発行整理票が発行された当該IC定期乗車券またはIC企画乗車券は、旅客が再発行整理票発行日の翌日から14日以内に次の第1号から第4号の条件を満たしたうえ、再発行を請求した場合に限って、当該ICカード乗車券裏面に刻印されたものと異なるカード番号のICカード乗車券を再発行する。また、一体型MOPASにおいては、次の第1号および第3号から第7号の条件を満たした場合に限って、IC定期乗車券またはIC企画乗車券の機能を再発行する。
 - (1) 旅客が前項により発行した再発行整理票を提出すること。
 - (2) 旅客が当該IC定期乗車券またはIC企画乗車券を提出すること。
 - (3) 再発行するMOPASに付加されている定期乗車券または企画乗車券が当社で発売したものであること。
 - (4) 旅客が定期乗車券または企画乗車券の効力にかかる帳票の発行を受けた場合には、これを提出すること。

鵜羽鉄道株式会社 ICカード乗車券取扱規則

(5) 旅客が当該IC定期乗車券またはIC企画乗車券を呈示すること。

(6) 旅客が株式会社モパスおよび提携先より交付された再発行用の媒体を持参すること。

(7) 旅客が障害状態となった当該一体型MOPASと株式会社モパスからの再発行用の媒体にかかわる通知を呈示すること。

4 当該IC定期乗車券またはIC企画乗車券の障害再発行の申し出を受け付けた後、これを取り消すことはできない。また、当該IC定期乗車券またはIC企画乗車券を再発行用の媒体として使用することはできない。

5 次の各号のいずれかに該当する場合は、理由の如何を問わず再発行の取扱いを行わない。なお、この場合、株式会社モパスが当該ICSF乗車券のデポジットを収受している場合、デポジットの取扱いはMOPAS取扱規則の定めによる。

(1) 裏面に刻印されたカードの番号が判読できない場合

(2) 旅客の故意または重大な過失によりIC定期乗車券またはIC企画乗車券が障害状態となったと認められ、第20条第9号により無効となった場合

(→第20条「無効となる場合」)

(MOPASの交換および移替え)

第24条 当社および株式会社モパスの都合により、旅客が使用しているMOPASを、当該MOPAS裏面に刻印されたものと異なるカード番号のMOPASに予告なく交換することがある。なお、一体型MOPASにおいては提携先の都合による場合を含む。

2 一体型MOPASを使用する旅客が、有効期限の到来または登録されている個人情報の変更等により一体型MOPASの交換をする場合の取扱いは、MOPAS取扱規則の定めにより、株式会社モパスおよび提携先から交換用の一体型MOPASの交付を受け、当社に、現在使用している一体型MOPASと当該交換用の一体型MOPASを持参し、かつ株式会社モパスからの交換用の一体型MOPASにかかわる通知を呈示し、IC定期乗車券またはIC企画乗車券の機能を当該交換用の一体型MOPASへ移し替える手続きをしなければならない。この場合、当社は、所定の機器により移し替える。

3 一体型MOPASを使用する旅客が、現在使用している一体型MOPASにおける記名MOPASの機能、IC定期乗車券またはIC企画乗車券の機能を、当社で発売できるICカード乗車券に移し替える場合、当社が定める申請書を提出し、かつ公的証明書等の呈示により記名人本人であることを証明したときは、MOPAS取扱規則の定めにより一体型MOPASの払いもどしおよびICカード乗車券の発売を行ったものとして、所定の機器により当該ICカード乗車券に移し替える。ただし、当該一体型MOPASに付加されていた定期乗車券、および企画乗車券の機能は、払いもどしをせず

鵜羽鉄道株式会社 ICカード乗車券取扱規則

に当該 ICカード乗車券に移し替える。なお、一体型MOPASにかかわる契約に別段の定めがあるときは、その定めによる。

- 4 第2項の交換または第3項の移替えを行った後、交換または移替え前の記名MOPAS、IC定期乗車券またはIC企画乗車券の機能停止の取消しまたは機能の復元、移し替えた記名MOPAS、IC定期乗車券またはIC企画乗車券の機能を別の一体型MOPASへ移し替えることはできない。

(→第11条「発売」)

(→第26条「払いもどし」)

(免責事項)

第25条 MOPASの交換または再発行により、MOPAS裏面に刻印されたものと異なるカード番号のMOPASを発行したことによる旅客の損害等については、当社はその責めを負わない。

- 2 紛失した記名MOPASの払いもどしやSFの使用等で生じた旅客の損害等については、当社はその責めを負わない。

- 3 一体型MOPASについて、提携先に起因する旅客の損害または提携先のサービス機能にかかわる旅客の損害等については、当社はその責めを負わない。

- 4 この規則に定めのない、MOPASを媒体としたサービス（当社が提供するものを除く。）に関して生じた使用者の損害等については、当社はその責めを負わない。

第6章 払いもどし

(払いもどし)

第26条 旅客が、MOPASが不要となり、当社が定める申請書を提出したときは、MOPAS取扱規則の定めにより払いもどしを行う。

- 2 旅客が、IC定期乗車券に付加された定期乗車券の機能が不要となり、当社が定める申請書を提出し、かつ公的証明書等の呈示により当該IC定期乗車券の記名人本人であることを証明した場合は、定期乗車券の払いもどしを請求することができる。この場合、旅客営業規則に定める払いもどしを行い、定期乗車券の機能のみ消去して返却する。

- 3 旅客が、IC定期乗車券が不要となり、当社が定める申請書を提出し、かつ公的証明書等の呈示により当該IC定期乗車券の記名人本人であることを証明した場合は、旅客営業規則に定める払いもどしおよびMOPAS取扱規則に定める記名MOPASの払いもどしを行う。この場合の払いもどし額は、定期乗車券の払いもどし額とSF残額の合算額とする。

- 4 前項の払いもどしを行う場合の手数料は、IC定期乗車券1枚につき220円とする。ただし、定

鵜羽鉄道株式会社 I C カード乗車券取扱規則

期乗車券の払いもどし額が手数料額未満のときは、その満たない額を S F 残額から充当する。なお、定期乗車券の払いもどし額と S F 残額の合算額が手数料額未満のときは、その合算額の同額を手数料とする。

5 旅客が、I C 企画乗車券に付加された企画乗車券の機能が不要となった場合は以下のとおり取り扱う。

(1) 当該 I C 企画乗車券が記名 M O P A S であった場合、当社が定める申請書を提出し、かつ公的証明書等の呈示により記名 M O P A S の記名人本人であることを証明した場合は、企画乗車券の払いもどしを請求することができる。この場合、旅客営業規則等に定める払いもどしを行い、企画乗車券の機能のみ消去して返却する。

(2) 当該 I C 企画乗車券が無記名 M O P A S であった場合、旅客の申告により旅客営業規則等に定める払いもどしを行い、企画乗車券の機能のみ消去して返却する。

6 旅客が、I C 企画乗車券が不要となった場合は以下のとおり取り扱う。

(1) 当該 I C 企画乗車券が記名 M O P A S であった場合、当社が定める申請書を提出し、かつ公的証明書等の呈示により記名 M O P A S の記名人本人であることを証明した場合は、旅客営業規則等に定める払いもどしおよび M O P A S 取扱規則に定める記名 M O P A S の払いもどしを行う。この場合の払いもどし額は、企画乗車券の払いもどし額と S F 残額の合算額とする。

(2) 当該 I C 企画乗車券が無記名 M O P A S であった場合、旅客の申告により旅客営業規則等に定める払いもどしおよび M O P A S 取扱規則に定める無記名 M O P A S の払いもどしを行う。この場合の払いもどし額は、企画乗車券の払いもどし額と S F 残額の合算額とする。

7 前項の払いもどしを行う場合の手数料は、I C 企画乗車券 1 枚につき 2 2 0 円とする。ただし、企画乗車券の払いもどし額が手数料額未満のときは、その満たない額を S F 残額から充当する。なお、企画乗車券の払いもどし額と S F 残額の合算額が手数料額未満のときは、その合算額の同額を手数料とする。

8 第 1 項にかかわらず、第 2 4 条第 3 項に定める移し替えにより一体型 M O P A S を払いもどす場合は、M O P A S 取扱規則の定めによる手数料は収受しない。

第 7 章 特殊取扱

(M O P A S の変更)

第 2 7 条 旅客が無記名 M O P A S を差し出して、記名 M O P A S への変更を申し出た場合は、M O P A S 取扱規則の定めにより M O P A S の変更を行う。なお、M O P A S 取扱規則の定めにより、記名 M O P A S から無記名 M O P A S への変更はできない。

鵜羽鉄道株式会社 ICカード乗車券取扱規則

- 2 旅客がMOPAS取扱規則の定めによる有効期限終了後の小児用MOPASを差し出して、大人用MOPASへの変更を申し出た場合は、MOPAS取扱規則の定めによりMOPASの変更を行う。

(同一駅で出場する場合)

第28条 旅客は、ICSF乗車券を使用して入場した後、任意の駅まで乗車し、出場せずに再び旅行開始駅まで乗車して出場する場合は、実際乗車区間の普通旅客運賃を支払い、当該ICSF乗車券の発駅情報の消去処理を受けなければならない。ただし、旅客が、IC定期乗車券またはIC企画乗車券を使用する場合の取扱いは次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 有効期間内で券面表示区間内から入場した後、券面表示区間外の任意の駅まで乗車し、出場せずに再び旅行開始駅まで乗車して出場する場合は、別途乗車となる区間の普通旅客運賃相当額を支払い、当該IC定期乗車券またはIC企画乗車券の発駅情報の消去処理を受けなければならない。
- (2) 券面表示区間外の駅または券面表示の有効期間の開始日前もしくは有効期間の満了日の翌日以降において入場した後、任意の駅まで乗車し、出場せずに再び旅行開始駅まで乗車して出場する場合は、実際乗車区間の普通旅客運賃または別途乗車となる区間の普通旅客運賃相当額を支払い、当該IC定期乗車券またはIC企画乗車券の発駅情報の消去処理を受けなければならない。

- 2 次の各号により入場し、乗車せずに同一駅で出場する場合は、当該入場駅の入場料金を支払い発駅情報の消去処理を受けなければならない。

- (1) ICSF乗車券を使用して入場した場合。
- (2) IC定期乗車券またはIC企画乗車券を券面表示区間外の駅または券面表示の有効期間の開始日前もしくは有効期間の満了日の翌日以降に使用して入場した場合。

(列車の運行不能の場合の取扱方)

第29条 IC定期乗車券またはIC企画乗車券を所持し、その乗車券の有効期間内に券面表示区間内を乗車する旅客が、改札機等による改札を受けた後、列車が運行不能となった場合、付加されている乗車券については旅客営業規則等に定める取扱いによる。

- 2 旅客が次の各号のいずれかに当てはまるICカード乗車券を所持し、改札機等による改札を受けた後、列車が運行不能となった場合は、アまたはイの取扱いを選択のうえ請求することができる。

- (1) ICSF乗車券
- (2) SFをチャージした券面表示区間外または券面表示の有効期間の開始日前もしくは有効期間の満了日の翌日以降のIC定期乗車券
- (3) SFをチャージした券面表示区間外または券面表示の有効期間の開始日前もしくは有効期間の

鵜羽鉄道株式会社 I C カード乗車券取扱規則

満了日の翌日以降の I C 企画乗車券

ア 発駅まで無賃送還をするとき

乗車区間の旅客運賃は収受せず、無賃送還後、発駅での出場時に当該 I C カード乗車券の発駅情報の消去処理を行う。ただし、無賃送還中の途中駅で下車した場合は、次号に定める取扱いを適用する。

イ 発駅に至る途中駅まで無賃送還したときまたは当該駅で旅行を中止したとき

発駅から途中駅または当該駅までの片道普通旅客運賃相当額を、途中駅または当該駅において I C カード乗車券の S F 残額から減額する。

第 8 章 I C カードの相互利用

(I C カード等の相互利用)

第 3 0 条 株式会社モパスが相互利用を行う以下の I C カード等については、第 3 条第 1 項第 1 号に定める I C カード乗車券として取扱うこととし、本規定を準用する。

- (1) J R 東日本株式会社が発行する「S w i c a」(W e l c o m e S w i c a を含む)
- (2) 東都モノレール株式会社が発行する「モノレール S w i c a」
- (3) 東都臨海高速鉄道株式会社が発行する「りんかい S w i c a」
- (4) J R 北海道株式会社が発行する「K i t a k a」
- (5) 株式会社名古屋交通開発機構が発行する「ナマカ」
- (6) 株式会社エヌアイシーが発行する「n a m a c a」
- (7) J R 東海株式会社が発行する「T O L C A」
- (8) 株式会社スルリと K A N S A I が発行する I C カード
- (9) J R 西日本株式会社が発行する「I K O C A」
- (10) 福丘市交通局が発行する「すごかけん」
- (11) 株式会社モニカが発行する「m o n i c a」
- (12) 九州旅客鉄道株式会社が発行する「H A Y A C A」

2 前項で定める一部の I C カード乗車券について、I C カード乗車券を処理する機器で使えない場合がある。

3 第 1 項に定める I C カード乗車券において、この規則に定めのない事項については、法令、当社の旅客営業規則および第 1 項に定める各 I C カードを発行する事業者の規則（以下、「I C カード発行事業者規則」という。）の定めるところによる。

鵜羽鉄道株式会社 I C カード乗車券取扱規則

(I C カードの相互利用において取扱わない業務)

第31条 前条にかかわらず、次の各号に定める I C カード乗車券においては、それぞれ各号に定める取扱いを行わない。

(1) 前条第1項第1号から第3号に定める I C カード乗車券について

- ア 第11条(発売)
- イ 第13条第4項(S F 残額の確認)
- ウ 第18条第2項(再印字)
- エ 第19条第2項(記名MOPASの個人情報変更)
- オ 第22条(紛失再発行)、ただし本条に定める再発行整理票交付手続きは行う。
- カ 第23条(障害再発行)、ただし本条に定める再発行整理票交付手続きは行う。
- キ 第24条(MOPASの交換および移替え)
- ク 第26条(払いもどし)
- ケ 第27条(MOPASの変更)

(2) 前条第1項第4号から第12号に定める I C カード乗車券について

- ア 第11条(発売)
- イ 第13条第4項(S F 残額履歴の確認)
- ウ 第18条第2項(再印字)
- エ 第19条第2項(記名MOPASの個人情報変更)
- オ 第22条(紛失再発行)
- カ 第23条(障害再発行)
- キ 第24条(MOPASの交換および移替え)
- ク 第26条(払いもどし)
- ケ 第27条(MOPASの変更)

(相互利用における I C カード発行事業者規則に基づく取扱い)

第32条 以下の取扱いについては第30条第1項に定める I C カード発行事業者において、I C カード発行事業者規則の定めるところにより取扱う。

- (1) 第7条に定める個人情報の取扱い
- (2) 第20条により無効となったカードの取扱い

鴫羽鉄道株式会社 I C カード乗車券取扱規則

付 則

この規則は、平成 1 9 年 3 月 1 8 日から実施する。

(付則中略)

付 則

この規則の改正は、2 0 2 4 年 1 0 月 1 2 日から実施する。